

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	PET-CT を用いた扁桃体活性の評価による致死性不整脈のリスク評価の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2012 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日の期間に新潟大学および各研究協力機関において、心臓サルコイドーシス(肉芽腫（にくげしゅ）という炎症のかたまりが心臓にできる病気)の診断で入院または外来受診された患者様が対象となります(上記期間内に新規に診断された患者様と、上記期間以前に診断され通院中の患者様の両方を含みます)。研究責任者；大槻 総
③概要	PET-CT による扁桃体活性の定量評価が致死性の心室性不整脈を主とする心イベント(心不全や心室細動・心室頻拍等の不整脈)発症リスクの評価の予測因子となり得るか否かについては依然として解明されておりません。扁桃体活性の違いが心室性不整脈に関連するのであれば、心室性不整脈に対する治療の適正化につながる可能性があると考えています。
④申請番号	2025-0086
⑤研究の目的・意義	PET-CT による扁桃体活性の評価を通じて致死性不整脈に対する治療をより適正化できる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている、PET-CT を撮像した心サルコイドーシス患者さんの病歴、血液検査・心電図・心エコー・胸部レントゲン、PET-CT、MRI、植込み型デバイスの記録、を利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	血液検査・心電図・心エコー所見・胸部レントゲン・PET-CT・MRI・ガリウムシンチ・心臓カテーテル検査・植込み型デバイスの記録の他、今までの病歴について確認します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合研究科 循環器内科学 大槻 総
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也
⑪お問い合わせ先	所属：国立循環器病研究センター 心不全・移植部門 氏名：泉 知里 Tel：06-6170-1070（代表）